

国際的な日本紡績業の確立者

庄司 乙吉

しょうじ おときち

出身地 北秋田市（旧阿仁町）

1873年（明治6年）～1944年（昭和19年）

大日本綿糸紡績同業連合会（紡連）に入り、紡連を世界的なカルテルに育てる。東洋紡績（株）社長・紡連委員長として、紡績業界を指導。企業合併で世界最大の東洋紡績を実現。日本を世界最大の綿布輸出国に押し上げた。



年譜

- 1873年 北秋田市（旧阿仁町）に生まれる。
- 1897年 東京高等商業学校卒業。
大日本綿糸紡績同業連合会（紡連）に入る。
- 1917年 東洋紡績取締役。
- 1919年 ワシントンの第1回国際労働会議顧問。
- 1926年 東洋紡績副社長。
- 1930年 『紡績操業短縮史』を刊行。
- 1935年 東洋紡績社長。紡連委員長。
- 1937年 日米綿業協議会日本代表。
- 1944年 大阪府で没。71歳。